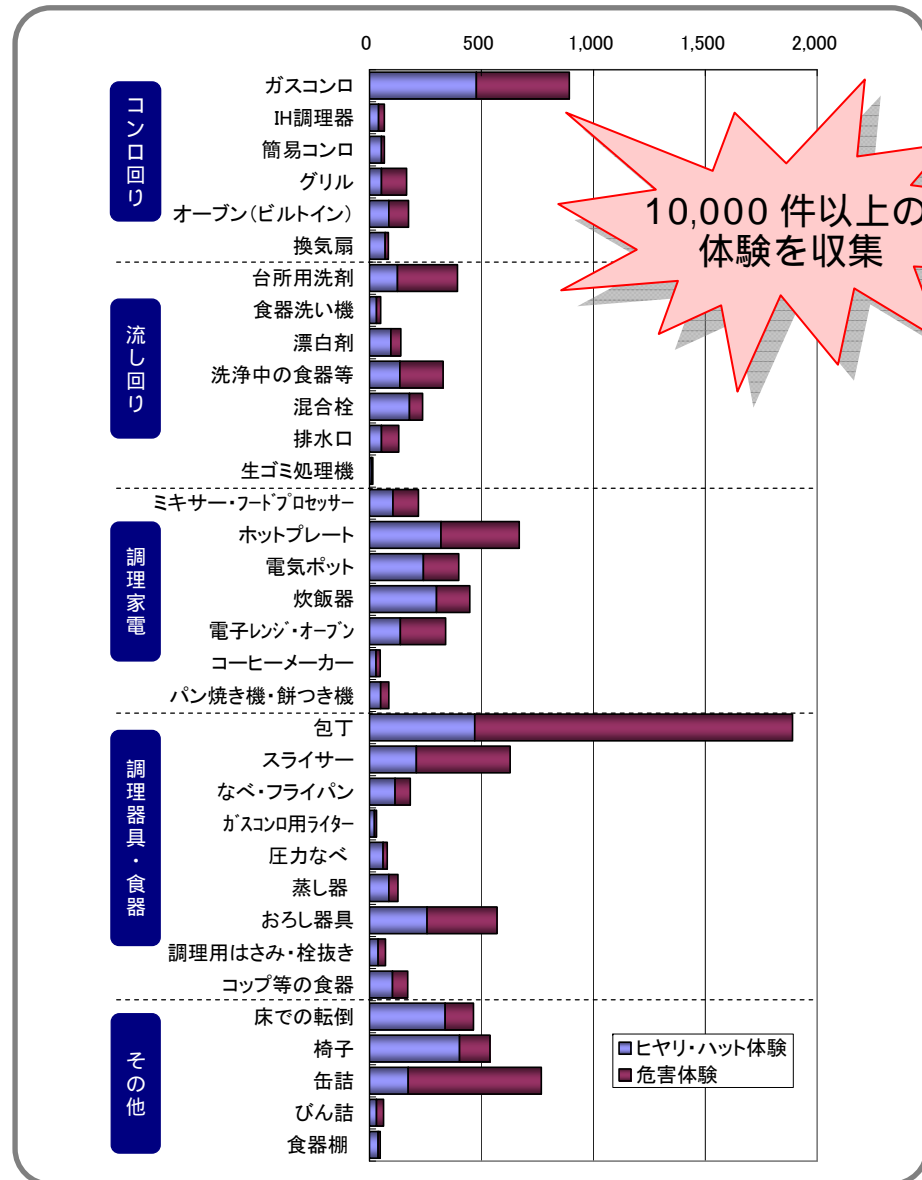


「キッチン」でのヒヤリ・ハット体験の具体例

4,000人から収集したヒヤリ・ハットや危害体験の件数



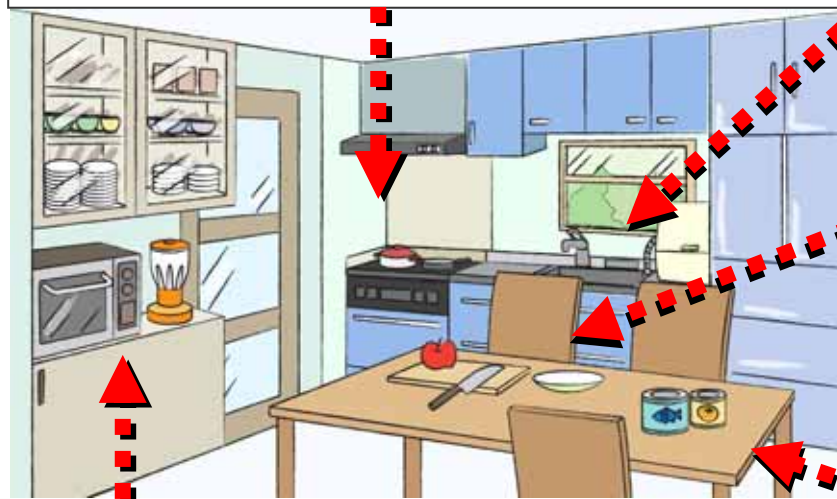
10,000件以上の体験を収集

具体的な体験例は？

キッチンでは、こんなヒヤリ・ハットや危害体験が！

コンロ回りでの体験

- 「ガスコンロ」(893件)
 - 高齢の母はコンロの火をつけたまま、鍋を交換しようと思って手をコンロの上方に伸ばして袖口を焦がしてしまった。
 - たばこをくわえながらガスコンロで火をつけようとしたら、前髪に火がぼつとついた。
 - アサリのパスタを作るのにワインを入れたところ発火して換気扇のフィルターに着火。
- 「IH調理器」(66件)
 - 小さい鍋で湯を沸かしていて、沸騰後に突然横滑りし、床に落ちた。



調理家電に関する体験

- 「ホットプレート」(669件)
 - 長女が0歳の時、こたつに置いたホットプレートにさわってしまい、手をやけどした。治るまで2週間近くかかった。
- 「電気ポット」(399件)
 - 3歳の妹が、保温ポットを倒して、足にやけどをした。痕が残るほどのやけどになった。
- 「ミキサー・フードプロセッサ」(218件)
 - フードプロセッサのカッターをはずして洗おうとしたとき、刃で指皮膚が剥がれ出血が止まらず、そのまま病院にいき治療。

流し回りでの体験

- 「台所用洗剤」(393件)
 - 使っていた洗剤が身体に合わなかったらしく、指がかぶれ皮膚がめくれた。手湿疹と診断されて完治するまで1年半ぐらいかかった。
- 「洗浄中の食器類」(328件)
 - コップを洗っていてぐるっと回したときに、コップが割れていて、深く切り、中の白い骨が見えたので医者に行った。
- 「生ゴミ処理機」(15件)
 - スプーンが入っているのに気づかずディスポーザーを回してしまい、破損した。

調理器具・食器に関する体験

- 「包丁」(1,890件)
 - 氷を包丁で砕いていたら、刃が欠けてまぶたに当たった。もう少しで目に入るところだった。
- 「スライサー」(628件)
 - スライサーで人差し指の先端を切ってしまった。深かったので病院で縫合してもらった。
- 「圧力なべ」(79件)
 - クリームシチューを作り、まだじゃがいもが硬かったのもう一度圧力鍋の蓋をして沸騰させたら、空気口からシチューが吹き出した。

その他、キッチンでの体験

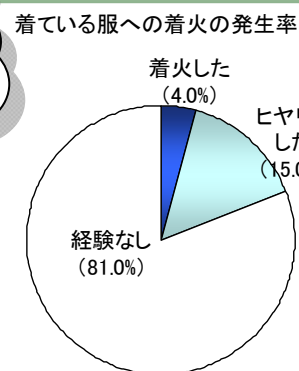
- 「缶詰」(767件)
 - ゴミの分別のため、必ず缶を洗ってから捨てないといけないので毎回洗うが、いつも手を切ったり切りそうになったりする。
- 「床での転倒」(464件)
 - スリッパが滑り、かばおうとした右足の甲の骨、中足骨を3本骨折して全治2ヶ月。
- 「椅子」(539件)
 - 換気扇を掃除しようとして流し台に上るために椅子を使ったところ、バランスを崩し椅子から落ちて、手首を骨折、医者に行き処置をもらった。

体験例の傾向

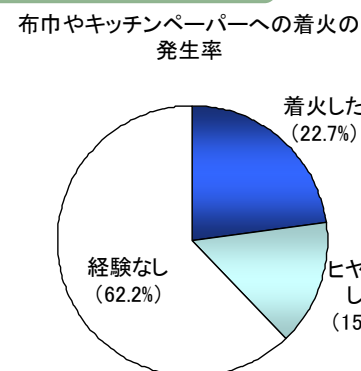
- コンロ回り 「ガスコンロ」では着ている服やコンロ回りのものに着火した体験が最多。「グリル」に脂がたまって大きな炎が出る体験が多い。
- 流し回り 「台所用洗剤」で手がかぶれ、長く医療機関を受診する人がいた。「洗浄中の食器類」では割れた食器で骨が見えるほど深く切った事故が発生。
- 調理家電 「ホットプレート」では目を離した隙に子供が触ってやけどしている。「電気ポット」の転倒で、痕が残るほどのやけどを負った事例もあった。
- 調理器具・食器 「包丁」は食材調理中の事故が最も多い。「スライサー」では縫合するほど深い傷。食材が小さくなったとき事故が発生。
- その他 「缶詰」は開缶時だけでなく、洗浄時や中身を取り出すときにもケガをしている。「床での転倒」は水や油で滑ったり、床に落ちたものを踏んで滑っている。「椅子」を踏み台代わりに使って、転落。受傷者の3割は60歳以上。

コンロ回りでの危険な体験の発生率を調査

どのくらい発生しているの？



(N=2,084)



(N=2,084)

ヒヤリ・ハットや危害体験

着ている服への着火は、
19% 発生！

コンロ回りのもの(布巾など)への着火は、
38% 発生！